



プレスリリース

長野県東御市

報道機関各位

令和 8 年 1 月 21 日

件名

映画「ぼくが生きてる、ふたつの世界」東御市上映会

■日時 令和8年2月 25 日(水)

①13:30～15:30 ②18:00～20:00

■場所 東御市中央公民館 2 階講義室

■内容

差別のない真に人権が尊重されるまちづくりに向け、様々な人権課題の一つである「障がい者の人権」や「親子の絆」について映画を通して学び、市民の人権意識のさらなる醸成の一助にすることを目的に、映画上映会を開催します。

■その他

詳しくは別添チラシをご覧ください。

本件に関する 問い合わせ先	部署	人権同和政策課 人権同和政策係		担当者	小山
	電話番号	0268-64-5902	メール	jinken-douwa@city.tomi.nagano.jp	

ぼくが生きてる、 ふたつの世界

伝えられない想いが
あふれます。

監督: 呉美保 主演: 吉沢亮 脚本: 港岳彦

忍足亜希子 今井彰人 ユースケ・サンタマリア 烏丸せつこ でんでん

原扶貴子 山本浩司 河合祐三子 長井恵里

原作: 五十嵐大「ぼくが生きてる、ふたつの世界」(幻冬舎刊) 企画・プロデュース: 山国秀幸

製作: 「ぼくが生きてる、ふたつの世界」製作委員会(ワンダーゴトリー/100%映画DY&ミュージック&ビジュアルズ/ギャガ/RS西日本コミュニケーションズ/アキ・ビー・アイ/アミューズ/河北新報社/東日本放送/シネマ・エッセイ)

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

©五十嵐大/幻冬舎 ©2024「ぼくが生きてる、ふたつの世界」製作委員会 配給: ギャガ GAGA★ gaga.ne.jp/FutatsunoSekai/

母に背を向け、故郷を離れたぼく——。

繊細に紡がれる、きこえない母ときこえる息子、そしてあなたの物語。

GAGA★
GENDA GROUP

親子の物語が、そしてひとりのコーダの心の軌跡が、点描のように紡がれていく……。監督は、本作が9年ぶりの長編作品となる、『そのみにて光輝く』『きみはいい子』の呉美保。作家・五十嵐大氏の自伝的エッセイを原作に、脚本は『正欲』の港岳彦。吉沢亮が、『きこえる世界』と『きこえない世界』を行き来しながら生きる主人公を体現、自身の居場所を見出していく若者の心を繊細に演じた。母・明子役には、ろう者俳優として活躍する忍足亜希子。

やがて母への想いが観る者の胸にも静かに温かく満ちていく、心に響く映画が誕生した。

母と息子、切なくも心に響く家族の物語

Story

宮城県の小さな港町、五十嵐家に男の子が生まれた。祖父母、両親は、“大”と名付けて誕生を喜ぶ。ほかの家庭と少しだけ違っていたのは、両親の耳がきこえないこと。幼い大に

っては、大好きな母の“通訳”をすることも“ふつう”の楽しい日常だった。しかし次第に、周りから特別視されることに戸惑い、苛立ち、母の明るささえ疎ましくなる。心を持って余したまま20歳になり、逃げるように東京へ旅立つ大だったが……。



「ぼくが生きてる、ふたつの世界」東御市上映会

2026年 **2月25日(水)** ①**13:30**(13:00開場) ②**18:00**(17:30開場)

東御市中央公民館 2階講義室 (東御市県288-4)

1回目が満席の場合は、2回目の上映をご案内いたします

前売券 一般・シニア・大学生 **1,200円**

当日券 一般・シニア 1,500円
大学生 1,300円
小中高生 800円

【前売券取扱所】

東御市社会福祉協議会、御菓子処花岡、道の駅雷電くるみの里、ゆうふるtanaka、東部人権啓発センター

*販売日時などの詳細は、市ホームページをご覧ください。

*おつりのないよう代金をご用意ください。

【主催】「ぼくが生きてる、ふたつの世界」東御市上映実行委員会

【構成団体】東御市企業人権同和教育連絡協議会、東御市社会福祉協議会、東御市聴覚障害者協会

【共催】信濃毎日新聞社

【後援】東御市、東御市教育委員会

【協賛】東御ライオンズクラブ、東御市商工会、株式会社エフエムとうみ

【お問合せ】実行委員会事務局：東御市人権同和政策課（東部人権啓発センター）

TEL. 0268-64-5902 FAX. 0268-64-5011

メール: jinken-douwa@city.tomi.nagano.jp



市ホームページ
QRコード